

施策評価シート(平成16年度の振り返り、総括)

作成日 平成 17 年 8 月 2 日

施策No.	19	施策名	高齢者の自立と社会参加の支援
主管課名	福祉課	主管課長名	天川 充
関係課名	健康増進課、介護保険課、社会福祉協議会、生涯学習課		

施策の目的 対象	65歳以上の市民	対象指標名	単位	15年度実績	16年度実績	17年度実績
		65歳以上人口	人	10,241	10,422	

施策の目的 意図	1)健康で生きがいを持って生活してもらう 2)積極的に社会参加してもらう	成果指標名	単位	15年度実績	16年度実績	17年度実績
		寝たきり老人数と割合	人	425(4.14%)	451(4.33%)	
		社会参加している高齢者数	人	4,200	4,217	
成果指標の把握方法(算定式など)	介護保険の認定状況データ	生きがいを感じている高齢者の割合	%	41.0	40.5	

成果指標設定の考え方	社会参加している高齢者数は、趣味クラブ、老人クラブ、シルバー人材センター登録人数とする。 健康の成果指標としては、寝たきり高齢者数を使う。 生きがいを感じている高齢者の割合については、社会参加している高齢者数 / 65歳以上人口とする。 生きがいを感じている高齢者の成果指標については、今後アンケート調査の方法を検討していく。
------------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	高齢者には生きがいをもって積極的に社会参加してもらう。 行政は生きがいや社会参加をしてもらうために、情報の提供や支援を行う。
-------------------------	---

16年度の 評価結果	1. 施策の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	真岡市の高齢化率は16.5%と県水準18.9%よりは低い。・寝たきりの高齢者4.33%である。 老人クラブ数は76クラブで会員は3,494人になるが、老人クラブへの加入者が減少している。しかし、加入率は県内平均よりは高い。・シルバー人材センターの活動が活発。受注が多いため、生きがいをもって働いている。 真岡市独自の総合地域づくり事業の中で、地域福祉づくり推進事業を通して、生きがいづくりと社会参加を支援している。 市独自の生きがい対策として、針・灸マッサージや白内障の眼鏡助成、老人福祉車の購入助成を実施している。 自然教育センターでの児童生徒と高齢者との交流。
	2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括
	<生きがい対策と社会参加> ・老人クラブへの加入。・趣味クラブ(囲碁、将棋、吟詠、書道、日光彫り、刻時彫り、手芸、大正琴、写真、民謡、民舞、四つ竹健康踊り、ハワイアン、社交ダンスなどの14団体)への加入。・シルバー人材センター会員への加入。・老人憩いの家、老人研修センターの利用。・健康増進施設井頭温泉の利用助成。・シルバースポーツ大会への参加。・真岡線を利用した他町施設の相互利用。・地域福祉づくり事業。・老人福祉タクシー券の配付。・老人福祉車の購入助成。
	3. 施策の課題認識と改革改善の方向
	老人クラブや趣味クラブへの加入と参加促進。 リーダーの育成。 寝たきりにならないための健康づくり。 閉じこもり老人に対する社会参加促進。